

広島大学病院 臨床検査研修会（第3回）

臨床検査室の将来を考える

現在、新型コロナウイルスが5類に移行し、日常の生活が戻りつつあります。今回の新興感染症から、臨床検査室として学ぶべきことも多くあったのではないのでしょうか。しかし、コロナ前から存在している医療を取り巻く環境に大きな変化はなく、医療の分化・連携や働き方改革は待ったなしで進んでいきます。その中で、臨床検査室の大きな課題に人材の育成が挙げられます。そして人材の育成には「指導者」の育成も含まれています。今回、人材育成と指導者の育成というテーマを取り上げ、私たち臨床検査室の将来について考えてみたいと思います。

日時：2024年9月28日（土）13:00～15:30（受付12時45分～）

場所：広島大学病院（霞キャンパス 凌雲棟4階 講義室2）

申込：先着50名（下記QRコードもしくはアドレスより申込み下さい）

参加費：無料

座長：梶原 享子 先生 広島大学病院 臨床検査部門主任
山崎 真一 先生 広島大学病院 診療支援部長

第3回：一般検査分野

【講演1】13:00-13:40

悩める人材育成「若手指導者の苦悩」

講師：毎田 昇平 先生 広島大学病院 診療支援部

【講演2】13:50-14:20

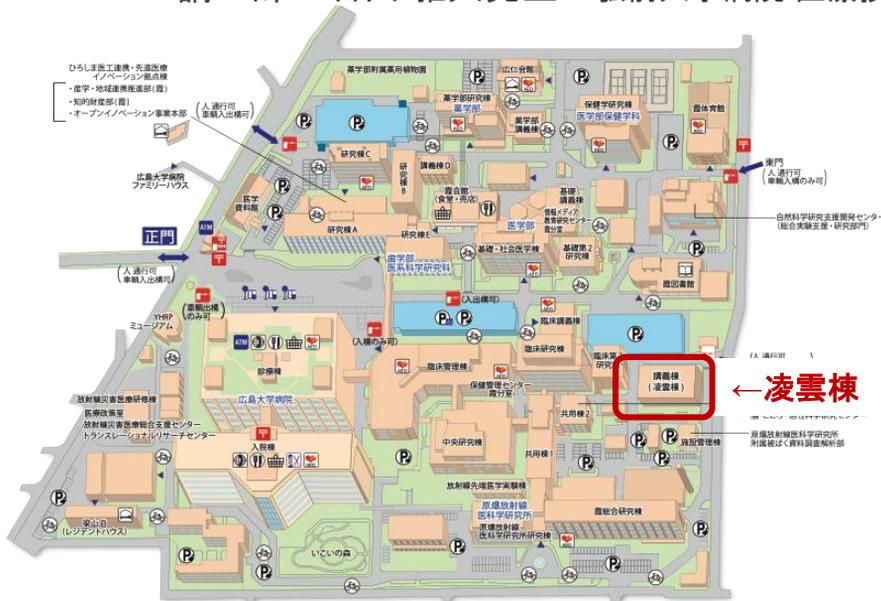
臨床検査室の人材育成 = 一般検査分野 =

講師：山下 美香 先生 広島赤十字・原爆病院 検査部

【特別講演】14:30-15:30

臨床検査室の指導者人材育成 = 一般検査+α? =

講師：石山 雅大 先生 弘前大学病院 医療技術部部長



<https://forms.gle/btsnEsYNS49qrLvP7>